

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

会社	昭和化工株式会社
住所	大阪府吹田市芳野町 18 番 23 号
担当部門	品質保証課
連絡先	TEL:06-6384-1504 FAX:06-6384-2287
緊急連絡電話番号	06-6384-1501

SDS 整理番号: G1813

改訂-8 2024 年 5 月 15 日

製品名(化学名、商品名等) 3,3'-DDS

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:

全項目とも「区分に該当しない」、「分類できない」である。

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 3

皮膚腐食性・刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷、眼刺激性: 区分 2A

生殖毒性 区分 1B

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): 区分 2(血液系)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): 区分 2(血液系、肝臓、脾臓)

上記項目以外は「区分に該当しない」、「分類できない」である。

環境に対する有害性

水生環境有害性(長期間): 区分 2

上記項目以外は「区分に該当しない」、「分類できない」である。

シンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H301 飲み込むと有害

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H360F 生殖能力を損なうおそれ

H371 飲み込むと臓器障害のおそれ(血液系)

H373 飲み込むと長期にわたる、または反復ばく露による血液系、
肝臓、脾臓の障害のおそれ

H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策：

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P260 粉じんを吸入しないこと
P264 取扱後は手、顔等よく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置：

P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

P302+P352 皮膚についた場合：多量の水で洗うこと。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P314 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

P330 口をすすぐこと。

P332+P313 皮膚に付着した場合：冷たい水に浸すこと/湿った包帯で覆うこと。

P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P391 漏出物を回収すること。

保管： P405 施錠して保管すること。

廃棄： P501 地方自治体によって認可された廃棄物処理会社を通して内容物、容器を処分すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 化学物質

化学名または一般名： 3,3'-ジアミノジフェニルスルホン

成分及び含有量： 98.0%以上

化学特性(化学式又は構造式)： C12H12N2O2S

官報公示整理番号： 化審法：3-2163

安衛法：既存化学物質

CAS No. : 599-61-1

PRTR 法: 非該当

労働安全衛生法通知対象物質: 非該当

危険有害成分: 該当なし

4. 応急措置

- 吸入した場合: ・ 直ちに新鮮な空気の場所に移動させ鼻腔を水で洗い、うがいをする。
- ・ 体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合: ・ 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。
- ・ 製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療処置を受ける。
- 目に入った場合: ・ 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
- ・ 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水がいきわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合: ・ 直ちに水でよく口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水または牛乳を飲ませ、医師の手当てを受ける。
- ・ 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 水、粉末、炭酸ガス、泡

使ってはならない消火剤: データなし

火災時の特有危険有害性: データなし

- 特有の消火方法: ・ 関係者以外の立ち入りを禁止し、適切な保護具を着用して風上から作業する。
- ・ 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- ・ 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置: ・ 漏出場所の周辺にロープを張り、関係者以外の立入を禁止する。
- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・ 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
- ・

環境に対する注意事項： ・ 本品や廃液が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法 ・ 真空中で吸い取る等、粉じんが飛散しない方法で取り除き、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策： ・ 換気の良い場所で取り扱う。
・ 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
・ 取扱後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。
・ 使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
・ その他、該当法規に従うこと。

注意事項： ・ みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取り扱う。
・ 開封後は密閉し、速やかに使用すること。

安全取扱注意事項： ・ アルカリ性物質との接触を避けること。

保管 適切な保管条件： ・ 容器を密封し、直射日光、高温、多湿、多段積み避けて屋内に室温で保管すること。
・ その他、該当法規に従うこと。

安全な容器包装材料： ・ 貯蔵タンク等は耐酸性の材質を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 ・ できるだけ設備を密閉化し、局所排気装置の設置又は全体換気を適切に行うこと。
・ 取り扱い場所の近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会： 設定されていない。

ACGIH： 設定されていない

保護具 呼吸器の保護具： 防塵マスク

手の保護具： 保護手袋(不浸透性)

目の保護具： 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具： 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的および化学的性質

物理的状态： 粉末

色： 白色

臭い： 特になし

融点／凝固点： 170℃以上

沸点又は初留点及び沸点範囲： データなし

可燃性： データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： 120～130g/m³

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

溶解度：水：難溶

その他：アルコール、アセトン、酢酸エチルに可溶

n-オクタノール/水分配係数（log 値）：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び／又は相対密度：データなし

相対ガス密度：データなし

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：特になし

化学的安定性：通常の取り扱いにおいては安定

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件：データなし

混触危険物質：データなし

危険有害な分解生成物：特になし

11. 有害性情報

急性毒性：経口 ラット LD₅₀ 4920 mg/kg

経皮 ウサギ LD₅₀ >2000 mg/kg

経口 ウサギ LD₅₀ >250 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性：皮膚、粘膜に刺激を起こすことがある

眼に対する重篤な損傷性 眼に刺激を起こすことがある。

／眼刺激性：

呼吸器感作性又は皮膚感 マウス 皮膚：感作性なし

作性：

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

催奇形性：データなし

特定標的臓器毒性、単回ばく ばく露による血液系の障害

露：

特定標的臓器毒性、反復ばく 長期にわたる、または反復ばく露による血液系、肝

露： 臓、脾臓の障害のおそれ

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

移動性: ヘンリー定数 (PaM³/mol) 3.15×10^{-9}

残留性・分解性: 0% (BOD) 0% (TOC) 1% (HPLC) 難分解性

OECD 301C: 0% (28 日)

生体蓄積性: 0.7~1.7 (1mg/L) <5.0 (0.1mg/L) 低濃縮性

生体毒性: OECD 201 藻類生長阻害試験:

EgC₅₀ 2.7 mg/L (72hr), Chronic NOECr 0.22 mg/L (72hr)

OECD 211 ミジンコ繁殖試験:

NOEC 0.46 mg/L (21days semi-static)

環境基準: データなし

13. 廃棄上の注意

・内容を明確にしたうえで産業廃棄物処理業者に委託する。

・水に溶解して活性汚泥法等の排水処理を行う。

※該当法規もしくは都道府県及び市町村の条例による廃棄の規制がある場合は、それに従った廃棄処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号: UN2811

品名 (国連輸送名): TOXIC SOLID, ORGANIC, N. O. S.
(Diaminodiphenylsulfone). Marine pollutant

国連分類: クラス 6.1

クラス 6.1



容器等級: 3

国際規制: IMDG-CODE Class 6.1

注意事項

- ・ 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・ 輸送前に、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
- ・ 特に高温多湿または直射日光に曝される場所に長時間放置しないこと。

15. 適用法令

特になし

16. その他の情報（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

引用文献

15107 の化学商品（化学工業日報社）

化学大辞典 初版（共立出版）

化審法化学物質 改訂第 2 版 構造別分類番号 CAS 番号付与（化学工業日報社）

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム（CHRIP）

THE MERCK INDEX, 11TH EDITION (MERCK & CO., INC)

THE REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES (U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES)

社内資料

注意事項

- ・現時点で入手できた情報に基づき作成しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分ご注意ください。
- ・記載内容は参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- ・注意事項等は通常の取扱いを対象としており、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・新しい知見により、本データシートは改訂されることがあります。